

一年間の感謝

園長 原田健次

いよいよ一年間の保育を締めくくる「まとめ」の3月になりました。

毎日の生活や遊びの姿を通して、一人ひとりの育ちを確認することで、保育を見直し、次年度に向けての準備をしているところです。

さて、先日の生活発表会は、多くの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。狭い会場の中、子ども達に暖かく拍手をして頂いたこと、感謝申し上げます。

すみれ組（3歳児）はみんなで一つの物語を表現することで、自分の役の表現を楽しんだり、相手の存在や気持ちに気づき、友達と一緒に楽しんでいる姿に一年間の育ちを感じることが出来ました。恥ずかしそうに照れながら表現している姿も3歳児らしさと受け止めております。



きく組（4歳児）は観ていただいている人のこともしっかりと意識し、歌や劇を表現することが出来ました。前日までは「どうなるのかなあ」という不安でいっぱい私達でしたが、もの見事に期待を裏切り（笑）、素晴らしく真剣に取り組んでいる姿に、ただただ感動させてもらいました。一生懸命に何かを伝えようとしている姿をみると、大きな育ちを感じることができました。



うめ組（5歳児）のスイミーのストーリーはセリフが少なくアレンジを多く取り入れたのでストーリーとしてきちんと伝わるか心配でしたが子どもたちは役になり切り真剣に取り組む姿にとっても感動することができました。保育の目標である「人の気持ちに気づき、その気持ちを踏まえて行動できる人になる」ということをねらいに登場人物やセリフ、役を決めていきました。自分がやりたい思いを主張するだけでなく、人に譲ったり、人の適性を認め合ったり、貴重な経験になったと思います。また当日は体調を崩し欠席した友達の分もそれぞれ役割分担をして自分たちで最後までやり遂げた子どもたちの姿は本当に立派でしたし、感動しました。



生活発表会では、子ども一人ひとりの一年間の育ちを振り返りながら本当に感動させていただきました。子どもたちに感謝、感謝です。

さくら0組（0歳児）では腹ばいやつたい歩きができたことを喜んでいた入園当初から、今では、自分で好きな遊びをみつけて遊んでいます。先日、雨上りの園庭で小さな水たまり

をみつけ足でピチャピチャと踏みつけて遊んでいる姿をみて思わず笑ってしまいました。
(水たまりでは遊ばないという約束がありますが、、、)

さくら1(1歳児)では歩く、走る、跳ぶといった基本的な運動機能が発達し、行動範囲も広がり、友達ともかかわりながら遊ぶ機会が増えてきました。その分、自分の主張が通らなくトラブルになってしまうことも多くみられるようになりましたが、それも成長の一つと受け止めています。

もも組(2歳児)は一人遊びから友達とかかわりを持ちながら遊ぶことが増えてきました。一人での遊びから小グループの活動が楽しくなり、今ではクラス全体で表現・リズム遊びを楽しむことも増えてきました。

3月はこのような育ちの場面をたくさん感じることもあり、とても充実した毎日を過ごすことが出来ています。私たちが目指す「もちこの保育」には、まだまだ至らないところが多々あるとは思いますが、これからも皆様のご協力・ご支援の程、よろしく願いいたします。

最後に園長おたよりを毎月読んでいただき、ありがとうございました。